

6

コンプライアンスの徹底

Plan 2013年度の基本方針

- グループ全体で能動的にコンプライアンス活動の推進に取り組みます。
- 情報セキュリティに関しては、引き続き、従業員一人ひとりがその重要性を十分に理解し、お客さま情報をはじめとする情報の取扱いに細心の注意を払いながら、日々の業務をおこなうことを徹底します。従業員は、研修、各職場でのディスカッション、情報セキュリティに関する事故事例の情報共有などを通じて、常に、その意識を高い状態に保つよう努めます。

DO

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ■コンプライアンス推進体制…………… P69 | ■情報セキュリティマネジメントの推進…………… P70 |
| ■グループ会社における自律的活動の支援…………… P69 | ●個人情報保護の取組み |
| ■各職場における能動的活動の展開・支援…………… P69 | ●一人ひとりへの意識の浸透をめざして |
| ■コンプライアンス相談窓口の機能強化…………… P69 | ●グループ全体の情報セキュリティの確保 |

Check 取組みへの評価 (取組みが向上した点/今後の課題)

コンプライアンス活動

- 各職場のコンプライアンス推進スタッフを中心とした職場ディスカッションや、グループ会社への「出前コンプライアンス研修」を通して、コンプライアンスの重要性の認識共有などを図ることができました。
- 「CSRに関する全従業員アンケート」では、従業員のコンプライアンス意識のレベルは高いものの、問題事象の改善に向けた意識には向上の余地があるとの結果が出ました。
- 当社発注工事について、グループ会社を含めた取引先による独占禁止法違反行為および当社社員による誘発・助長行為が発覚しました。

情報セキュリティ

- 「CSRに関する全従業員アンケート」では、昨年度に引き続いて、99%以上の従業員が「情報セキュリティの重要性を十分に理解している」と回答しており、情報セキュリティに対する高い意識が浸透しています。今後も、さまざまな機会を通じてさらなる意識の向上に努め、ルールを徹底することによって、情報セキュリティを確保します。

Action 2014年度以降の方針



関西電力株式会社
総務室長
岡田 達志

2013年度は、グループ全体でコンプライアンス活動推進に関する取組みを展開しました。しかしながら、当社発注工事において独占禁止法違反行為をおこなっていたとして、グループ会社を含む取引先に排除措置命令などが下り、当社に対しても取引先の違反行為を誘発、助長していたとして、適切な措置を講じるよう申し入れがおこなわれました。

こうした事態を受けて、2014年度は、独占禁止法違反行為に関する再発防止策の徹底とともに、職場の意識改革に向けた取組みを重点的に進めていきます。社内にお

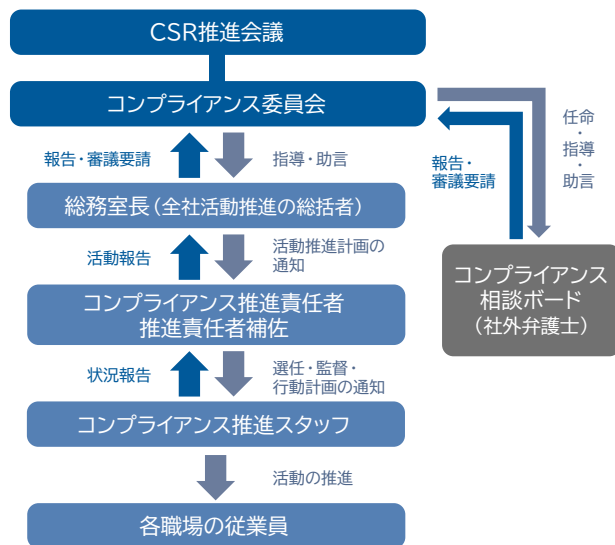
いては、再発防止策に着実に取り組むとともに、各職場でのディスカッションを通じて、見過ごされているコンプライアンス違反がないか再点検などを実施します。また、グループ会社においては、再発防止策の水平展開に取り組むとともに、研修などを通じた意識喚起や各社の課題把握、課題解決支援に取り組んでいきます。

グループ全体で取り組むコンプライアンス活動の推進

コンプライアンス推進体制

当社では、各職場のコンプライアンス活動を推進するため、それぞれの職場のコンプライアンス推進責任者（部門や支店などの長）が、コンプライアンス推進スタッフ（主に課長クラス）を選任しています。そして、各職場では、コンプライアンス推進スタッフを中心となり、職場ごとに自律的な取り組みを展開しています。

■関西電力グループ コンプライアンス推進体制



グループ会社における自律的活動の支援

2013年度は、コンプライアンスの重要性についての認識をグループ間で共有するため、5月に「グループ会社コンプライアンス情報交換会」を開きました。また、グループ各社の課題などを把握するため、訪問ヒアリングを計11社におこないました。

2007年度から継続しているグループ会社への「出前コンプライアンス研修」も実施し、2013年度の出前研修は計20社、延べ33回に達しました。

2014年度も引続き、グループ全体におけるコンプライアンスのさらなる推進を図るため、さまざまな機会をとらえて、グループ会社の活動を支援していきます。



グループ会社への「出前コンプライアンス研修」

各職場における能動的活動の展開・支援

各職場では、コンプライアンス推進スタッフを中心となり「職場ディスカッション」を年1回以上実施し、日常業務に潜むコンプライアンス・リスクについての認識を共有するなど、能動的な意識啓発をおこなっています。

また、本店の法務部門は、コンプライアンス推進スタッフに対して、過去のコンプライアンス違反事象などを題材にした対話活動をおこない、コンプライアンスに必要な視点と再確認しています。2013年度は15ヵ所で対話活動を実施しました。



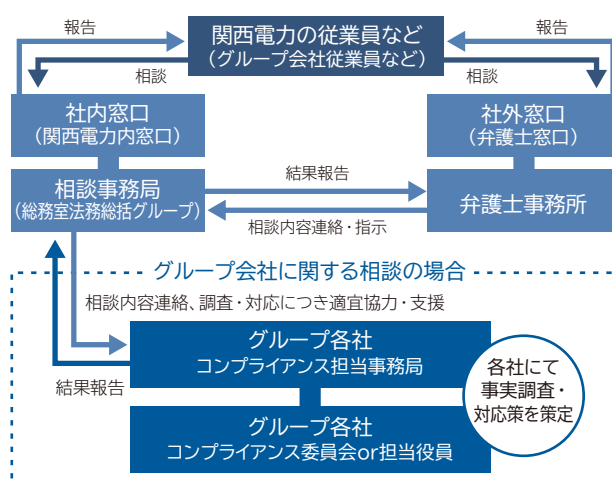
各職場のコンプライアンス推進スタッフとの対話活動

コンプライアンス相談窓口の機能強化

当社が開設している「コンプライアンス相談窓口」は、関西電力グループ各社の従業員に加えて、取引先の方の利用も可能で、リスク情報が広く収集できる体制となっています。

2013年9月からは、その機能を強化するため、匿名でも相談できるように変更し、より一層相談しやすい窓口にしました。

■関西電力グループ・コンプライアンス相談窓口



情報セキュリティ対策の推進と個人情報保護の徹底

情報セキュリティマネジメントの推進

当社は、中長期的な成長を支える強固な経営基盤を構築するため、副社長を委員長とする「基盤整備委員会」を設置しています。同委員会では、情報セキュリティマネジメントを重要な経営課題の一つとしており、年度計画の策定や進捗状況などの審議をおこなっています。

情報セキュリティマネジメントで実施している具体的な対策

1 組織的対策

- 経営改革・IT本部長を個人情報保護管理者に任命
- 各職場に情報セキュリティ管理者を配置
- 情報セキュリティに関する社内ルールの整備

2 人的対策

- 全従業員、情報セキュリティ管理者に対するeラーニングによる研修
- 新入社員、役付社員などに対する集合研修
- 情報セキュリティに関する社内ルールの遵守状況のセルフチェックおよびサイドチェック
- ケーススタディなどを用いた職場ディスカッション
- ファイル共有ソフトなどによる情報の流出を防止する取組み
- 全従業員による標的型メールに対する訓練

3 物理的対策

- ICカード（従業員証明書など）による入退室管理の一部導入
- パーティションによる執務室のゾーニング
- 鍵付きキャビネットやシュレッダーを設置して文書管理を徹底

4 技術的対策

- ICカード（従業員証明書など）によるパソコン利用認証
- お客さま情報システムの不正利用の有無を所属長がチェック
- 社外へ持ち出す電子ファイルの自動暗号化
- システムログの活用によるシステム管理者の不正操作の抑止
- 社内パソコンへの外部記憶媒体の接続を制限
- サイバー攻撃による侵入や情報の流出を防止する仕組みの導入

ICカード（従業員証明書など）による情報セキュリティの強化



社内ネットワークへのログインのための個人認証



電気錠の解錠と入退室履歴の管理

●個人情報保護の取組み

個人情報保護については、その重要性を十分に認識し、「個人情報の保護に関する法律」をはじめとする法令などを踏まえた社内ルールを整備するなど、取組みを徹底しています。これまでも全従業員を対象に研修を実施してきましたが、2013年度は、最近の事象を織り込んだ個人情報に関する研修を全従業員が受講し、理解を深めました。

●一人ひとりへの意識の浸透をめざして

情報セキュリティを確保するには、従業員一人ひとりの意識が最も重要です。こうした認識のもと、全従業員の意識啓発活動を継続しています。各職場では、情報セキュリティ管理者が、ルールの遵守状況をチェックし、社内の第三者がその結果をサイドチェックすることで、問題の早期発見と是正に努めています。また、各職場では、情報セキュリティ管理者が中心となって、チェック結果などから自所の課題の把握と、解決に向けた自律的な取組みをおこない、改善を重ねています。

●グループ全体の情報セキュリティの確保

グループ全体の情報セキュリティを確保するため、「関西電力グループ情報セキュリティガイドライン」を定めています。グループ各社は、これに基づいて自律的な活動を計画・実行し、当社は、各社の特性に合わせた指導・支援をおこなっています。その結果、2013年度は、同ガイドラインが求める情報セキュリティレベルに、全グループ会社が到達しました。

Voice

現場の一人ひとりの意識に根付く「情報セキュリティ」をめざす

お客さまのお役に立つサービスをお届けするためには、さまざまな情報の適切な利用が必要です。しかし、その過程で情報の漏洩や紛失があっては いけません。こうした情報セキュリティ事故を防止するためには、従業員一人ひとりがルールを守ることが重要です。そこで、私は情報セキュリティの担当者として、業務ごとに取り扱う情報が異なることに配慮しながら、従業員の注意を喚起できるようなトピックスを発信しています。また、各職場とのコミュニケーションを図り、相談しやすい担当者であるよう努めています。



神戸支店 電力設備室
情報通信グループ
吉村 志帆美